



新年のごあいさつ

議長 渋川 芳三

就任のご挨拶

副議長 西澤 一彦



あけましておめでとございませう。市民の皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

私は昨年12月定例会において再び議長に選出されました。議員諸氏とともに円滑な議会運営と議会改革等に引き続き取り組んでまいります。

私どもは9月定例会において議会基本条例を制定しました。これからの2年間は議会基本条例を着実に実行し、市民に開かれた議会を目指

してまいります。

具体的には、次の事柄を実施します。一つ目は、市民の皆様との意見交換会の実施です。具体的な実施の方法を現在検討しており、来年度から実施を予定しております。積極的な申し込みをお願いするものであります。

二つ目は、本会議のインターネットでの放映です。YouTubeを利用しての放映を、3月定例会から実施することで準備を進めております。これにより、インターネットでの実況放送と再放送を見ることの出来ない方も、お好きな時間に、見たい議員の質問を見ることができるようになります。

この他にも、様々な事柄について検討を進めております。今年も、市民の皆様が議会に関心を持っていただけるように取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、議会と議員の活動に目を向けていただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年こそ皆様と飯山市にとって穏やかな良い年になりますよう、祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



市民の皆様新年明けましておめでとございませう。

私は、昨年の12月定例議会において副議長に選出されました西澤一彦でございます。渋川議長を補佐し、開かれた議会を目指し励んで参りたいと思っております。

さて、一昨年の台風19号災害に続く昨年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、市民の皆様には様々な面において、厳しい状況にあることと思っておりますが、今年はワクチン接

種が軌道に乗って、収束に向かうことを願っております。

また、当市は今年市政発足から67年となります。発足当時4万人余の人口が、第2期飯山市総合戦略による人口目標では令和17年には、1万5千人余となっております。この現実に対応すべきかが、重要な課題であります。

そこで、今年から渋川議長と共に県下の議会議長会や北信越の議長会など多くの市議会において、課題解決に向け活躍の議員や議会関係者と意見交換させて頂き、当市や議会が直面している諸問題の対応について研鑽して参りたいと思っております。そして、市民の皆様が議員や議会に期待していることにお応えしたいと存じます。

最後に本年が皆様にとって安穏な年であることを祈念申し上げます、就任のご挨拶いたします。

令和2年12月定例会は4年任期の中間点にあたり、11月30日の招集日に議会の構成替えを行いました。

◆各委員会等紹介◆

◎委員長 ○副委員長

総務文教常任委員会



(議長はオブザーバー)
渋川芳三 松本淳一 高山恒夫 水野正彦
石田克男 ◎吉越利明 ○佐藤正夫 小林喜美治

議会運営委員会



上松永林 渡辺美智子 松本淳一 吉越利明
渋川芳三 ◎久保田幸治 ○山崎一郎 西澤一彦
(正副議長はオブザーバー)

産業民生常任委員会



上松永林 渡辺美智子 飯田健一
久保田幸治 ◎岸田真紀 ○山崎一郎 西澤一彦

予算決算常任委員会

◎石田克男 ○渡辺美智子
(委員は議長を除く全議員)

議会活性化特別委員会

◎佐藤正夫 ○吉越利明
(委員は議長を除く全議員)

北信広域連合議会議員 (飯山市議会選出)

岸田真紀 石田克男 山崎一郎
西澤一彦 渋川芳三

岳北広域行政組合議会議員 (飯山市議会選出)

水野正彦 吉越利明 飯田健一 上松永林
久保田幸治 小林喜美治 西澤一彦 渋川芳三

12月定例会概要



12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間の日程で開かれ、令和2年度補正予算案や条例案および人事案あわせて16件の議案が提出されました。

最終日の本会議において各常任委員長から付託された議案等の審査結果の報告を行い、採決の結果、審議された議案はすべて可決されました。

また、産業民生常任委員会から「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」および「災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書」が提出され、採決の結果、全員一致で可決されました。

産業民生常任委員会から提出された意見書
(抜粋)

意見書第9号 災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書

近年、気候変動による自然災害や大規模地震が多発し、飯山市でも令和元年東日本台風災害や本年7月の豪雨災害により甚大な被害が発生している。被災地の復旧・復興に向け、継続的な手厚い支援が求められており、また、国土強靱化に関しては、対策を要する箇所が未だ多く残されていることに加え、老朽化が進むインフラの計画的な予防保全が必要である。さらに、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は深刻であり公共事業の継続は重要である。よって、飯山市議会は、国に対し、災害からの早期の復旧・復興を図るとともに、防災・減災、国土強靱化に向けた社会資本整備を一層進めるため、下記事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 令和元年東日本台風及び令和2年7月豪雨による災害からの早期復旧・復興に係る予算を確保し、改良復旧を積極的に推進すること
- 2 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」終了後も制度の拡充等を行い、国土強靱化等のための予算を5年以上別枠で確保するとともに防災・減災に係る事業は、地域の実情を踏まえ、要件の緩和を行うこと
- 3 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を推進するとともに、千曲川、信濃川（飯山・中里間）の県管理区間となっている「中抜け区間」を早期に解消し、国の一元管理とすること
- 4 迅速かつ円滑な災害復旧の実施や、地方公共団体に対する人的・技術的支援を継続的に行うため、地方整備局の人員・体制を拡充・強化すること

問 まれているのか。
答 施設部分、駐車場の活用部分も含めて全体の基本構想となる。
問 市の方向性を示し、その上で設計委託をすべきである。
答 市の基本的な方針を示した上で設計委託を行う。
◎子ども育成課
問 【義務教育振興事業】学校行事撮影編集等委託は、音楽会等の映像をネットを介して配信するののか。学校行事は写真、動画等をSNSに上げないと言われているが。
答 ネット回線を利用して配信することになるが、保護者にも専用URLを発行し、6か月後に公開終了とする。

総務文教常任委員会

【意見】長野県がへき地手当の基準を下げた経過について調査研究する必要があるため、継続審査とする。

【意見】長野県がへき地手当の基準を下げた経過について調査研究する必要があるため、継続審査とする。

インクルーシブ教育とは
 障害のある子どもと障害のない子どもが共に教育を受けることで、「共生社会」の実現に貢献しようとする考え方を指す。

【意見】インクルーシブ教育は、教育の観点から議論すべきであり、高校再編整備計画における下高井農林高校の生徒数を増やすために実践推進校の指定を受けるといふ考えはどうか。

◆ 令和2年12月定例会で審議された議案等 ◆

- 【補正予算案9件】**
 ◇令和2年度 飯山市一般会計（2件）・各特別会計6件・水道事業会計補正予算
- 【条例案6件】**
 ◇一般職の職員の給与に関する条例及び飯山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市税外収入金の督促手数料等の徴収に関する条例等の一部を改正する条例
 ◇職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市税条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市水道水源保全条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市都市公園条例の一部を改正する条例
- 【人事案1件】**
 ◇監査委員の選任に関する同意を求めることについて

- 【請願3件】**
 ◇へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを長野県知事に求める請願
 ◇安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願
 ◇高校再編整備計画に、インクルーシブ教育システムを導入し、下高井農林高校を実践推進校に指定を求める請願
- 【意見書2件】**
 ◇安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書
 ◇災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書

◆賛否が分かれた議案等の表決結果◆

○=賛成 ●=反対

*「長」は委員長のため委員会での表決権はありません。
 *「一」は別委員会のため表決権はありません。

議案番号	議案等名	会派名・議員名	政新会			明日の飯山	日本共産党	絆		緑新会	議決結果				
			吉越利明	水野正彦	岸田眞紀	山崎一郎	飯田健一	松本淳一	渡辺美智子	小林喜美治		高山恒夫	石田克男	上松永林	佐藤正夫
請願8	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願	委員会	—	—	長	○	○	—	—	—	●	—	○	採択	
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願9	高校再編整備計画に、インクルーシブ教育システムを導入し、下高井農林高校を実践推進校に指定を求める請願	委員会	長	●	—	—	—	●	—	●	●	—	●	—	不採択
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 委員長報告の不採択についての賛成・反対です

◎総会
 11月9日、山ノ内町を会場に長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会（会長・飯山市議会議長洪川芳三）の令和2年度総会を開催しました。10市町村議会から、豪雪地帯の道路等整備、安全安心な暮らしの確保に向けた切実な要望が提出され、案件はすべて可決されました。

◎県知事要望・県議会陳情
 総会の決定を受け、11月16日に本協議会並びに県議会豪雪地帯対策促進議員連盟合同で県知事への要望と県議会へ陳情を行いました。



「特別豪雪地帯での安全安心な暮らしを求めて」阿部知事へ要望

常任委員会議案審査
 委員からの主な質問および意見と市からの説明について抜粋して掲載します。

予算決算常任委員会
 議案第123号 令和2年度飯山市一般会計補正予算（第8号）

◎庶務課
問 【特別定額給付金事業】給付金の最終的な件数と交付率は。
答 20513人、99・8割。

◎企画財政課
問 【ふるさと寄附金推進事業】11月末で約9億円の寄附があるが、返礼品や事務経費を除き、実際に市に残る金額は何割になるののか。
答 返礼品を含めた経費は寄附金額の5割以内と決められているため、5割強となる。

◎危機管理防災課
問 【消防防災施設整備事業】水害時の救助用ボートを購入することのことだが何台か。
答 1艇を購入し消防団本部付けとする。

◎商工観光課
問 【桜広場交流施設拡張整備事業】設計委託には建物の設計も含